

授業番号	B202350001				
科目名(英語標記)	流通経営論(Retailing)				
担当者(英語標記)	根本 敏則(Toshinori Nemoto)	履修開始学年	2	単位数	2

授業のねらいと到達目標 (DP,CPIにおける位置づけを含め)	私たちの社会生活や経済活動に必要な様々な商品を手に入れるには、生産者と消費者を結ぶ流通が欠かせない役割を担っています。流通の役割、さまざまな流通の形態、経済発展に応じた流通の変化、流通を支える物流(ロジスティクス)の知識を習得することをねらいとします。授業では流通経営の最新理論や事例を通じて理解を深め、日本の流通システムの望ましいあり方について自分の意見を表明できる学生になることを目的とします。
授業の進め方(履修条件、試験やレポートなど課題のフィードバック方法を含め)	教科書の各章を解説する形で進めます。毎回、小テストを実施します。
成績評価方法・割合・基準	定期試験の成績を80%、授業中の小テストや授業態度を20%の比率で評価します。
授業の予習・復習(1授業に必要とする事前事後学習の内容と時間数を含め)	予習:教科書を読んでおくこと(90分以上)。また、各自、章末の問題を解答しておくこと。 復習:授業のノートを整理すること(90分以上)。
教科書	基本流通論 実教出版
参考文献	

回数	授業項目	授業内容
第1回	流通論を学ぶ	流通および流通機構を考えてみる
第2回	流通の機能	生産と消費の懸隔、流通システムと流通機能、流通機能の構成、中間流通機能の社会経済的な意義
第3回	流通の歴史	流通の歴史、明治時代までの流通、戦後の流通
第4回	流通機構	流通機構の概念と流通経路、小売業の分類、日本の流通機構の特徴、戦後における日本の流通機構
第5回	流通革新のはじまり	流通革命が登場した背景、『流通革命』および『流通革新論』の整理、『日本の流通革命』の整理、『流通産業革命J』および『日本の流通機構J』の整理
第6回	革新的小売業	小売業の分類とその限界、小売業の業態開発と革新性
第7回	商業集積	商業集積とは、商業集積の役割、商業集積の分類、商業集積を取り巻く環境、商業集積に関する理論、商業集積に関する法律、商業集積の発展への戦略
第8回	卸売構造	卸売の定義、卸売商の分類
第9回	卸売再編成	卸売構造、卸売再編成進展の背景、リテールサポート、変わる卸売商(納入業者)の役割
第10回	流通経営	小売流通の経営特質と戦略、卸売業とメーカーの流通経
第11回	物流の構造	流通と物流の密接なかわり、物流の見方、物流システムの構造
第12回	物流管理とロジスティクス・マネジメント	物流管理の目的・構成、物流管理システム、ロジスティクス・マネジメント、物流とロジスティクス……
第13回	流通の社会適合	情報化への適合、環境問題への適合
第14回	流通政策	流通政策の意義、流通政策の流れ、流通政策の展開、流通政策のあり方
第15回	まとめと試験	第1回から第14回までの授業の振り返り、確認試験及びその解説